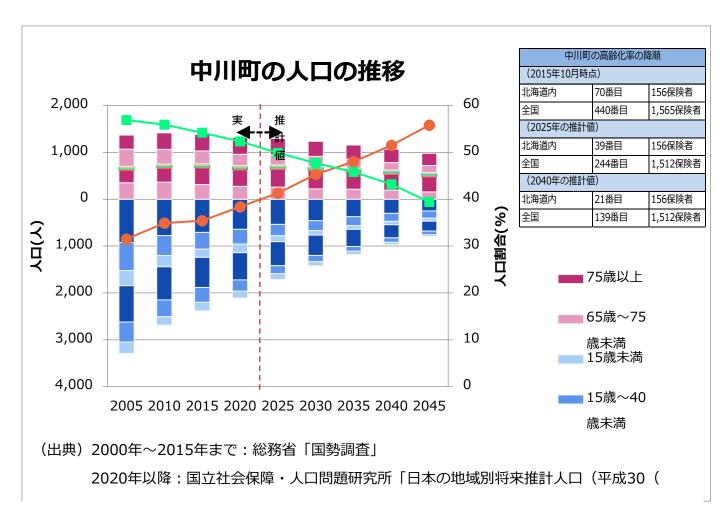
## 2020 地域包括ケア「見える化」システムによる 中川町の介護保険事業の状況

地域包括ケア「見える化」システムで公表されているデータを活用して、中川町の介 護保険事業の状況を全国・北海道・近隣町村と比較し、中川町の現状と課題の分析を行いました。

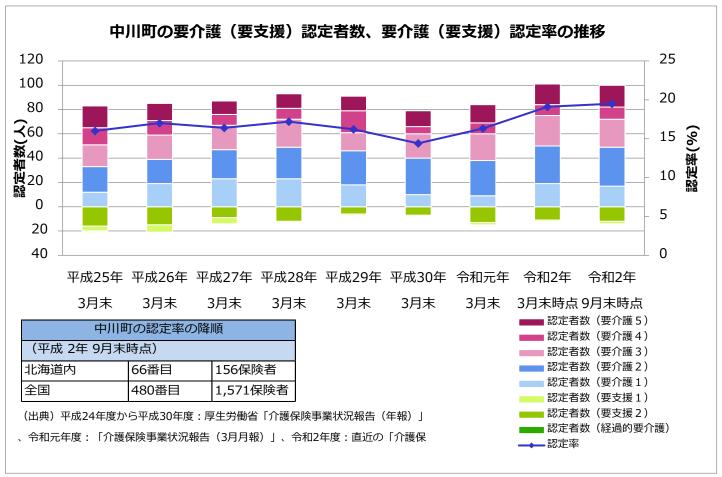
## ◆地域包括ケア「見える化」システムとは◆

地域包括ケア「見える化」システムは、都道府県・市町村における介護保険事業計画 等の策定・実行を総合的に支援するための情報システムで、厚生労働省が運営していま す。

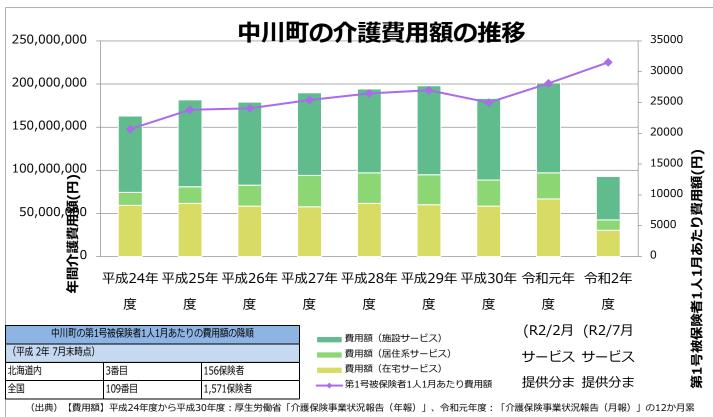
介護保険に関連する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報がこのシステムに一元化され、グラフ等を用いた見やすい形で提唱されています。



○国立社会保障・人口問題研究所の推計では、中川町の人口は、2025年には1,371人となっています。 高齢化率は、今後も上昇しますが、被保険者数は減少するものと推計されています。



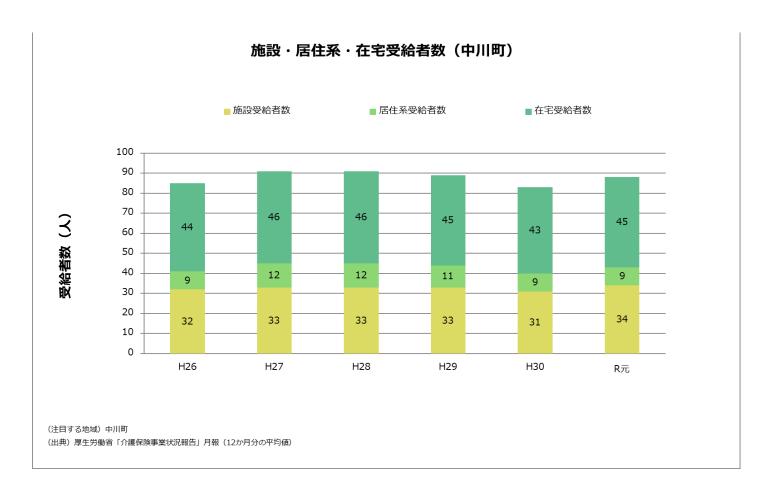
○平成30年度まで認定者数・認定率は減少傾向でしたが、その後上昇に転じています。



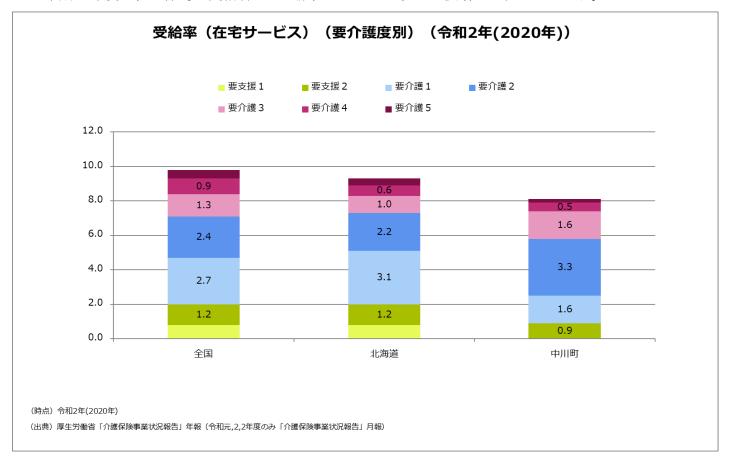
(出典) 【費用額】平成24年度から平成30年度:厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、令和元年度:「介護保険事業状況報告(月報)」の12か月累計、令和2年度:直近月までの「介護保険事業状況報告(月報)」の累計(※補足給付は費用額に含まれていない)

【第1号被保険者1人あたり費用額】「介護保険事業状況報告(年報)」(または直近月までの月報累計)における費用額を「介護保険事業状況

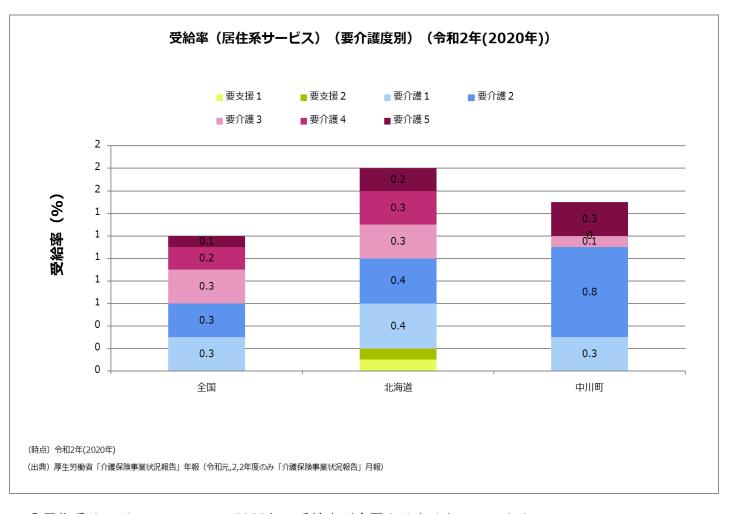
○介護費用は、平成30年度下がりましたが、その後は高くなっています。認定者増の影響と 考えられます。



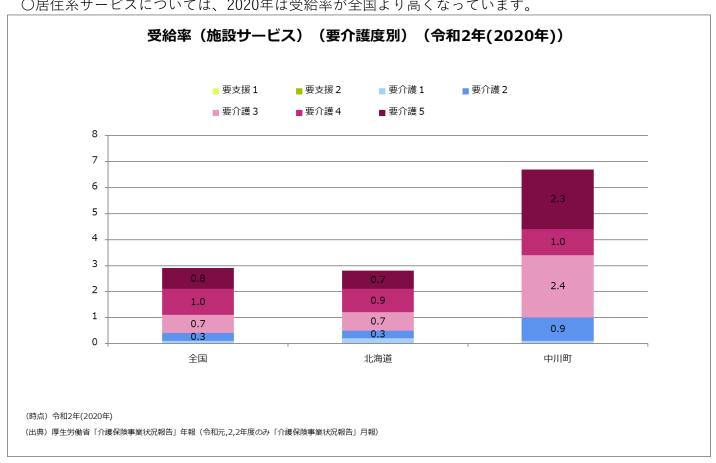
○平成30年度は、全体的に受給者がやや減少しましたが、その後増加に転じています。



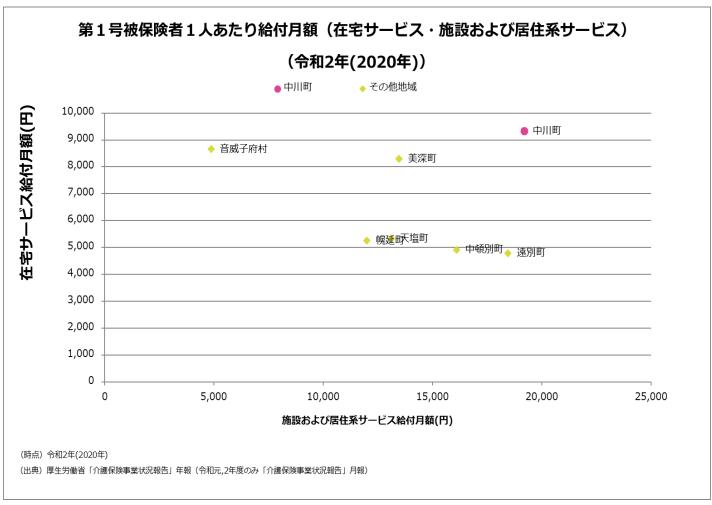
○在宅サービスの受給率は、比較すると低くなっていますが、要介護2は増えています。



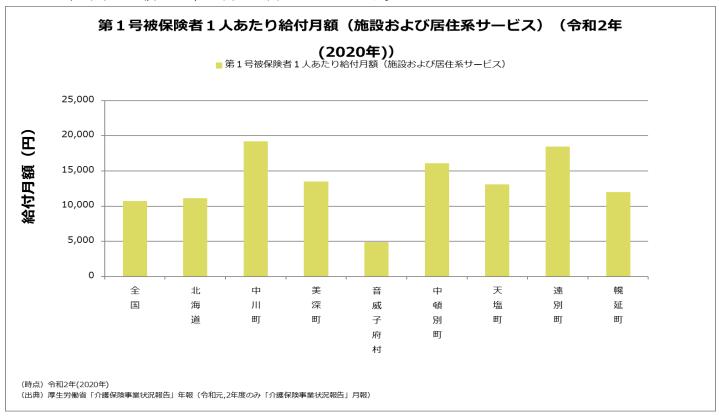
○居住系サービスについては、2020年は受給率が全国より高くなっています。



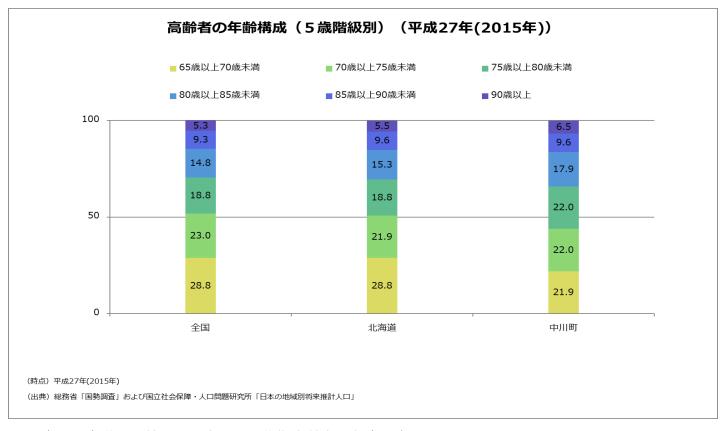
○施設サービスについては、中川町は昨年の5.5%から1%以上高くなっていて、全国2.9%、全道2.8%から 見ると非常に高い状況が続いています。



○近隣町村と比較し、在宅サービス・施設及び居住系サービスの給付額が高いことがわかります。 また、昨年と比較して1,000円ほど高くなっています。



○令和2年度の一人あたりの給付額は、全国平均・全道平均・近隣町村と比較して高い状況です。



○全国・全道と比較して、中川町は後期高齢者の割合が多いです。



○全国・全道に比較して、特に要介護3からの在宅が少なくなっています。